



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年12月3日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

～関東大震災での中国人虐殺を伝える在日中国人2世～

忘れてはいけない歴史をつなぐ 12月3日(日)=1、3面

迫る



虐殺現場で遺族に語りかける林伯耀さん(左)＝東京都江東区で2023年9月2日

1923年9月1日に発生した関東大震災では、多くの犠牲者が出ました。さらに震災後には「朝鮮人が井戸に毒を入れた」といった流言が広がりました。政府が設置した中央防災会議の専門調査会の報告書によると、地震の全犠牲者約10万5000人のうち、1～数%が虐殺犠牲者だと推計しました。ただ、東京や神奈川で多数の中国人が虐殺されたことはあまり知られていません。中国人の犠牲者は、生存者の証言

や中国政府関係者の調査などから約750人とされています。歴史に埋もれてしまったような悲劇に「歴史を忘れることは、生きる者の恥」と語る在日中国人2世がいます。神戸市で暮らしている林伯耀(りん・はくよう)さん(84)。林さんは「在日中国人としての使命とは何か」と問い続け、歴史の検証と日中友好のために奔走してきました。林さんの行動と心境に迫ります。

中国「夢の原子炉」年内稼働か 12月4日(月)=1、3面

中国政府が福建省の漁村に建設中の高速増殖炉の実証炉が、世界の核専門家から注目を集めています。実証炉を使えば兵器級プルトニウムを大量に生産できるとの指摘があるためです。

中国政府が従来の方針を転換し、核弾頭の数を急増させているとみられる中、情報公開に消極的であることも大きな懸念材料です。現地ルポや専門家へのインタビューで実態に迫ります。



中国福建省で建設が進む高速増殖炉＝福建省寧徳市霞浦県で



神奈川県横浜須賀野市にある無縁者のための納骨堂

論点 “無縁時代”の弔いを考える

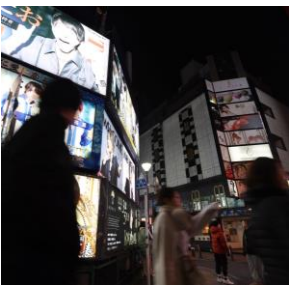
全国の市区町村で保管する「無縁遺骨」は、総務省によると約6万柱(2021年10月)にのぼります。親族が引き取りを拒んだケースが大半です。少子化

が進んで家族形態や地域社会が変化したことや背景にあり、生前から「無縁」の状態だった結果ともいえます。行政はどのように対応すればよいのでしょうか。故人を

12月6日(水) オピニオン面

特集 **ワイド** 歌舞伎町ホストのわな

12月4日(月)＝夕刊2面



ホストクラブの多額請求に絡む事件が相次ぎ、国会でもツケ払い(売掛金)で膨れ上がる料金システムが取り沙汰されています。シャンパン50万×1本、シャンパン10万×4本、サービス料30%。「青伝」と呼ばれる簡易

領収証には、一般人には払えないような額が記されているそうです。東京・歌舞伎町＝写真＝のホストクラブは近年急増し、300店に及ぶと言われます。まちを歩き、大金を搾取される背景を探りました。



「なるほどり&もちもち♡ぱんだ特製カレンダー」をプレゼント。詳しくはQRから。(甲斐有紗)

